

研究実施のお知らせ

2023年2月28日 ver.1.1

研究課題名

流出路再建術の切開範囲における術後成績比較

研究の対象となる方

2018年4月から2023年1月の間に島根大学医学部附属病院で開放隅角緑内障と診断され、緑内障手術（流出路再建術）の治療を受けられた方

研究の目的・意義

緑内障の進行予防として緑内障の手術が行われます。流出路再建術（眼内法）は比較的新しい術式で、手術時の切開部位や切開範囲によって、手術の効果（眼圧下降）や合併症（前房出血、再手術など）がどのように違うのか、明確にわかっていません。本研究では、島根大学で緑内障手術（流出路再建術）を受けられた患者さんを対象に、手術時の切開範囲の違いで緑内障の手術がどの程度効いているのか、どのように合併症に差があったのかを明らかにするための研究です。

研究の方法

対象となる患者さんの電子カルテから年齢、性別、緑内障の病型、視力、眼圧、緑内障の点眼、屈折値、眼軸長、前房フレア値、角膜内皮細胞数、視野感度、手術中合併症、術後合併症、術後の前房内の出血を調査します。すべてのデータは研究対象者の識別が不可能な状態にして扱います。収集したデータは島根大学医学部眼科学講座内の外部から容易にアクセスできないパソコンに保管し、パソコンにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。

研究の期間

2023年8月5日～2023年12月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 杉原一暢

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2023年11月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 杉原一暢（すぎはらかずのぶ）

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278